

2022年6月30日現在における栃木県登録選手の100mパフォーマンス分析 【2022年度 第2回 SANO スプリント (2022/08/11) 開催に際して】

佐野スパルタ倶楽部

- 要約**
- (1) 2022年6月30日現在、栃木県スプリンター上位選手の多くが、100m シーズンベストを2022 第1回 SANO スプリント (04/30) でマーク。
 - (2) 会場となる佐野市運動公園陸上競技場では施設設計上、年間を通じて追い風が吹きやすい。さらに走路の高度と反発感が、好記録誕生を後押しする。
 - (3) 参加標準記録の突破や、自己ベスト・シーズンベスト更新を目指すスプリンターにとって、第2回 SANO スプリントは逃すことができない貴重なレース機会となる。

第1回 SANO スプリント (2022/04/30) では、県内外から365名・延べ512件 エントリーし、多くの選手が自己ベスト記録 (PB) を更新するなど盛況を博しました。

ここでは、2022/06/30 現在における「2022 栃木県陸上競技レコードリスト」男女100mについて、男子では11秒30を切るシーズンベストを持つ66名、女子では13秒50を切るシーズンベストを持つ62名について、「どのレースでベストを出したか」をまとめました (小学生選手及び中体連選手を除く)。

表 A 2022/06/30 現在・栃木県男子100m上位66名 (11秒30以内) のシーズンベストレース

競技会	会場	期日	人数	割合
SANO スプリント	佐野市運動公園	4/30	19	28.8%
C競技会	A競技場	5/28	10	15.2%
D競技会	B競技場	4/16	5	7.6%
E競技会	B競技場	5/13	3	4.5%
F競技会	B競技場	4/24	3	4.5%
その他	—		26	40.3%

表 B 2022/06/30 現在・栃木県女子100m上位62名 (13秒50以内) のシーズンベストレース

競技会	会場	期日	人数	割合
SANO スプリント	佐野市運動公園	4/30	17	27.4%
C競技会	A競技場	5/28	15	24.2%
E競技会	B競技場	5/13	9	14.5%
D競技会	B競技場	4/16	8	12.9%
G競技会	B競技場	6/18	3	4.8%
その他	—		10	16.1%

以上、表A・B内容から、**栃木県の記録上位となるスプリンターは、4月から6月まで県内外を含め様々な競技会に参加した中で、この期間のシーズンベストを多くの選手が SANO スプリントで出していたことがわかります。**

スプリント競技の記録は風力に影響を受けるため、選手がベストコンディションでレースに臨んでも、記録を更新できるとは限りません。強い向かい風に阻まれ記録が停滞したり、追い風参考記録となり公認記録を得られなかったりするなど、選手にとって1回ごとのレースは、記録を出せるかどうかの「賭け」でもあります。

そうした賭けに**挑戦する選手に対し、標準記録突破や公認自己ベスト記録更新などの貴重な機会を設けることが、「SANO スプリント」の使命（ミッション）**となります。そして、スプリンターの皆さまにとって、今後、**記録を狙って参加レースを選ぶ上では、第2回 SANO スプリントは欠かすことのできない有力候補**になるといえます。

会場となる佐野市運動公園陸上競技場は、走路の材質等について「スプリント種目に向いている」と選手・指導者から大変好評です。加えて周辺地形と気候条件などから、年間を通じて多くの日数においてホームストレートが追い風となる環境にあり、これまで開催された県内競技会において、多数の好記録を輩出してきました。（記録会当日、必ず適度な追い風となることを保証することはできませんので、ご了承ください。）

2022年度第2回 SANO スプリントは、佐野スパルタ倶楽部の主催・主管により、2022年8月11日（木・祝）に佐野市運動公園陸上競技場にて開催いたします。皆さんもぜひ、暑い佐野で熱いスプリント・パフォーマンスをご披露ください。

参加募集は、2022年7月10日（日）から20日（水）までの11日間を予定しております。運営上の都合から、参加人数に定員制限を設ける場合があるため、お早めにお手続きくださいますよう、よろしくお願いいたします。

【過去の参加者の声】 （過去大会におけるフィードバック・アンケート結果やメールでの報告等をまとめたものです。）

- トラックの硬さと反発がちょうどよく、スプリント向き。
- 佐野のグラウンドは補助競技場が無いので、通常の競技会ではウォーミングアップをしにくいですが、この大会では専用のウォーミングアップエリアが設けられているため、そうした不都合がない。
- 短距離レースしかなく、長距離や跳躍・投てき種目が無いので、競技場の来場者全員の意識が短距離選手と走路に集中されている。選手としてレースに意識を集中しやすい。
- どんなレベルの選手でも、希望すれば100mを1日2本走れるのは、とてもありがたい。
- 追い風に助けられ、4年ぶりに自己ベストを更新できた。